

船舶事故調査報告書

平成23年1月27日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成22年6月14日 08時40分ごろ～12時00分ごろの間）
発生場所	山形県鶴岡市加茂港沖 荒埼灯台から真方位320° 1,500m付近 （概位 北緯38° 46.55′ 東経139° 42.66′）
事故調査の経過	平成22年6月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{えびす} 恵比須丸、0.4トン YM3-4555、個人所有 5.49m (Lr) × 1.54m × 0.57m、FRP ガソリン機関、30kW（漁船法馬力数）、平成6年3月27日
乗組員等に関する情報	船長 男性 78歳 一級小型船舶操縦士、特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和53年2月7日 免許証交付日 平成21年5月11日 （平成27年2月28日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、仕掛けていた刺し網の揚収を行うため、平成22年6月14日08時30分ごろ、加茂港金沢地区を出航した。 本船は、帰港予定時刻の10時00分を過ぎても戻らないため、船長の家族の依頼により、僚船による捜索が行われ、12時00分ごろ、本船と本船の付近海面に救命胴衣を着用し、うつ伏せで浮いている状態の船長が発見された。 船長は、僚船に救助されて病院に搬送されたが、死亡が確認された。 死因は急性循環不全と診断された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風力 4、気温 約20～26℃ 海象：うねりの波高 約1m、水温 約21℃
その他の事項	本船は、通常約10ノットで航行しており、漁場は、加茂港から約10分の場所であった。 本船は、その場所に設置していた刺し網20反のうち、13～15反を船内に揚収した状態で発見されたが、揚網機は止まっていた。

	<p>船長は、ふだんから救命胴衣を着用していた。</p> <p>船長は、心臓ペースメーカーを使用していた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>死因は、急性循環不全と推定された。</p> <p>本船は、08時40分ごろから加茂港沖の漁場において揚網作業を始め、12時00分ごろ、同漁場において、本船の付近の海上で船長がうつ伏せで浮いていたところを発見されたことから、この間において、船長が急性循環不全を発症したものと考えられるが、発症したのが落水前か落水後かは、明らかにすることができなかった。</p> <p>なお、本船は、揚網が終了していない状態であったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が加茂港沖の漁場において揚網作業を行っていた際、船長が急性循環不全を発症したことにより発生したものと考えられる。</p>	